

21歳 夭折のチェリストの想いを叶えたい

息子が最後に願った「病院への防音室寄贈」のためにご支援をお願いします



山本栞路が闘病生活を過ごした、千葉大学医学部附属病院への
防音室設置（必要費用1500万円程度を想定）のために
みなさまのあたたかいご支援を何卒お願い申し上げます。

防音室を病院へ寄付する団体「M for M」はクラウドファンディングに挑戦します

令和5年4月26日に栞路（かんち）は旅立ち、我が家の心の時が止まりました。

21歳で夭折したチェリスト山本栞路。彼は白血病を突然宣告されました。
年間300日以上入院を通して音のない世界を長期間経験し、彼は病院での生活で心を塞ぎました。

他の患者さんへの気遣いや病室の規則により、日常的に出す声の音量を落とし、
また日常生活に比べて早い就寝時間になると会話自体が難しくなります。楽器演奏・練習はもちろん禁止でした。

さらに、急に環境が変わったことによるストレスから、右耳の突発性難聴にもなり、
ヘッドホンすらも極力使わないようにせざるをえない状況でした。
そんな入院生活の中で、心のリハビリにつながる音のある世界を体験できたらと、切に願っていました。

防音室を病院へ寄付することは、チェリスト山本栞路の生前の願いでありました。

入院患者が社会復帰に向けて身体のリハビリ訓練があるように、心のリハビリができる環境をつくるために。
防音室で、声を出して泣いたり、歌ったり、電話ではっきりした声で思う存分話したり、リモート授業を受けたり、
リモートワークをしたり、音楽を全身で浴びたりできる環境をつくるために。
チャリティコンサートを開催して、その収益で「防音室を病院へ寄付する団体」M for M 設立に至りました。

今回のクラウドファンディングでは、山本栞路が1年間お世話になった千葉大学医学部附属病院へ防音室設置のための
寄付を目指します（必要費用1500万円程度を想定）。みなさまのあたたかいご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

目標金額 350万円 11月17日～12月30日まで

※インターネット上でのお手続きが難しい場合は、山本昭夫まで直接ご連絡ください。
EMAIL : akio4151@gmail.com TEL : 09057790530

READYFOR

<https://readyfor.jp/projects/m-for-m>

山本栞路 レディーフォー



ご支援の方法

M for M 公式サイトはこちらから→



1 プロジェクトの支援にすすむをクリック



2 希望するコースにチェックを入れ、個数を選択し次に進むをクリック



3 はじめて利用する方は新規登録へをクリック



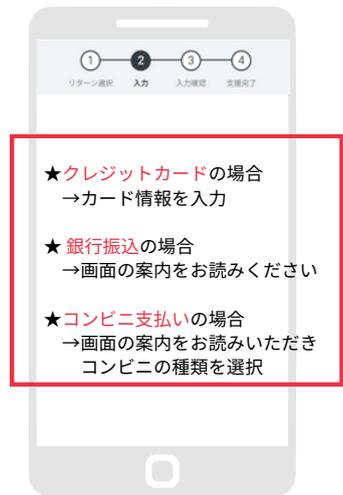
4 情報を入力し、メールアドレスで登録をクリック



5 支払い方法を選択する



6 必要情報を入力



※コンビニ支払いは、ファミリーマート、ローソン、ミニストップのみ対応です。支援金額+システム利用料の合計金額が30万円未満のご支援でご利用いただけます。

✉ 入力したメールアドレス宛にREADYFORからメールが届きます。受信したメールの本文内にあるURLをタップしてください。

7 リターンお届け先(住所)を入力し入力内容の確認画面へをクリック



8 入力内容を最終確認し、支援を確定するをクリック



お手続き完了です！



銀行振込・コンビニ支払いの場合「支援履歴」から返金先情報のご設定をご確認ください。